

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月14日

上場会社名 株式会社 アートネイチャー
 コード番号 7823 URL <http://www.artnature.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 五十嵐 祥剛
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 井上 裕章
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年12月5日

上場取引所 JQ

TEL 03-3379-3334

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	14,848	—	1,401	—	1,578	—	783	—
20年3月期第2四半期	15,067	5.0	2,221	24.5	2,334	28.2	1,231	39.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	47.69	47.41
20年3月期第2四半期	227.28	223.54

(注)平成19年10月1日付で、普通株式につき1:3の株式分割を実施

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	24,398	—	15,033	—	61.6	—	913.12	—
20年3月期	25,153	—	14,683	—	58.3	—	892.94	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 15,021百万円 20年3月期 14,669百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	70.00	—	24.00	94.00
21年3月期	—	25.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,006	△1.8	3,316	△30.0	3,633	△24.9	1,850	—	112.55

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 16,452,900株 20年3月期 16,430,400株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 2,040株 20年3月期 1,990株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 16,437,135株 20年3月期第2四半期 5,419,660株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。
- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在まで入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「定性的情報・財務諸表等」13. 連結業績予想に対する定性的情報をご参照ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年8月の米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安、株価・為替相場の急激な変動、原油・穀物を始めとした諸物価の高騰などの影響によって米国・欧州での経済成長が急速に鈍化していることの影響を更に強く受け、景気後退感、個人消費の一段の落ち込みをもたらしております。

当社の属する毛髪業界におきましては、このようなマクロ経済環境下、各社とも新規顧客の獲得とリピート需要の取り込みに注力しましたが、業界全体での売上高は前年同期比では減少したものと推定されます。

このような状況の中で、当社グループでは、当事業年度を初年度とした3年間の中期経営計画で打ち出した戦略である、メンズにおける「着実な成長の実現」、レディースにおける「売上高の2桁成長の継続」を実現すべく、策定した諸施策を遂行することにより、企業価値の向上に努めました。しかしながら、上記の我が国マクロ経済環境悪化に伴う個人消費の冷え込み、業界内外での競争激化に加えて、前連結会計年度末にオーダーメイドかつらの納品が想定以上に進捗したことの影響を当第2四半期連結会計期間でもキャッチアップ出来ませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,848百万円（前年同期比1.5%減）となりました。利益につきましては、この売上高の減少に加えて、広告宣伝活動を強化したことによる広告宣伝費の増加が357百万円、女性向け展示試着会開催数を増加させたことにより、展示会費の増加が170百万円、本社ビルの賃借化に伴う賃借料の増加126百万円を主因に、販管費が前年同期比654百万円増加したことから、営業利益は1,401百万円（前年同期比36.9%減）、経常利益は1,578百万円（前年同期比32.4%減）、四半期純利益は783百万円（前年同期比36.4%減）となりました。

主要な商品・サービス別の売上高は、次のとおりであります。

（オーダーメイドかつら）

男性用オーダーメイドかつらについては、前連結会計年度末に当期の新商品として「HFLアルトナ」の投入等によって売上拡大を図りましたが、新規・リピートを合わせたオーダーメイドかつらの売上高は6,584百万円（前年同期比8.2%減）に留まりました。

女性用オーダーメイドかつらについては、新規売上高が景気後退の影響を受けて受注が期待した程には伸びなかったものの、リピート売上高は顧客基盤の拡大に伴って増加したことにより、新規・リピートを合計したオーダーメイドかつらの売上高は3,641百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

（その他商品）

増毛商品については新規男性向けを除いて前年同期を下回ったため、男女合計の売上高は581百万円（前年同期比8.1%減）となりました。育毛商品については、男性リピート顧客向けを除いては、前年同期を上回る売上高を計上したものの、男性リピートの売上高の減少幅が上回ったため、男女合計の売上高は196百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

（サービス収入）

理美容サービス収入については、女性顧客向けはオーダーメイドかつらの顧客数増加を主因として微増となったことから、男女合計の売上高は、2,239百万円（前年同期比0.4%増加）となりました。

育毛サービス収入については、女性リピート向けを除いて前年同期と比較して減少したため、男女合計の売上高は、681百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

〔財政状態の変動状況〕

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて755百万円減少し、24,398百万円となりました。これは主に流動資産において繰延税金資産、未収還付法人税等の減少等により、778百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,105百万円減少し、9,364百万円となりました。これは流動負債において未払金・前受金等の減少により前連結会計年度末比704百万円減少したのに加えて、固定負債においても社債の償還を主因に400百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ350百万円増加し、15,033百万円となりましたが、これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、11,345百万円と前連結会計

年度末に比べて369百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの主な要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,548百万円、法人税等の還付金収入777百万円、減価償却費373百万円があった一方、前受金の減少243百万円、役員退職慰労引当金の減少128百万円、その他流動負債の減少311百万円等により、1,929百万円の資金収入（前年同期は642百万円の資金支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産取得による支出557百万円、定期預金預入による支出222百万円、無形固定資産取得による支出79百万円等により、853百万円の資金支出（前年同期は463百万円の資金支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払390百万円、社債の償還316百万円等により、698百万円の資金支出（前年同期は2,029百万円の資金支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月15日に公表いたしました通期の連結・個別業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する内容につきましては、平成20年11月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、オーダーメイドかつらについては個別法による原価法、その他は主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、オーダーメイドかつらについては個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、その他は主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③ 「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告18号 平成18年5月17日）を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,583,566	9,016,297
売掛金	370,696	505,008
有価証券	2,011,530	2,007,952
商品及び製品	467,084	411,199
仕掛品	17,770	20,172
原材料及び貯蔵品	469,756	489,185
その他	1,973,712	3,231,258
貸倒引当金	△614	△9,039
流動資産合計	14,893,502	15,672,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,664,027	2,729,865
その他（純額）	2,206,032	1,976,251
有形固定資産合計	4,870,059	4,706,116
無形固定資産		
のれん	141,929	180,719
その他	676,228	726,766
無形固定資産合計	818,157	907,486
投資その他の資産		
その他	3,918,513	3,939,156
貸倒引当金	△101,744	△71,095
投資その他の資産合計	3,816,769	3,868,060
固定資産合計	9,504,986	9,481,664
資産合計	24,398,489	25,153,698

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,062	171,027
短期借入金	141,131	91,080
1年内返済予定の長期借入金	25,000	89,230
1年内償還予定の社債	572,000	602,000
未払法人税等	103,125	61,577
前受金	3,469,391	3,712,804
賞与引当金	754,261	800,000
役員賞与引当金	50,000	100,000
商品保証引当金	12,090	14,188
その他	1,688,197	2,054,834
流動負債合計	6,992,259	7,696,743
固定負債		
社債	340,000	626,000
長期借入金	—	2,983
退職給付引当金	1,053,290	1,003,821
役員退職慰労引当金	933,510	1,062,236
その他	45,893	78,464
固定負債合計	2,372,693	2,773,505
負債合計	9,364,953	10,470,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,989,935	2,986,560
資本剰余金	2,877,435	2,874,060
利益剰余金	9,166,727	8,777,190
自己株式	△562	△518
株主資本合計	15,033,535	14,637,291
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△11,916	32,260
評価・換算差額等合計	△11,916	32,260
少数株主持分	11,917	13,897
純資産合計	15,033,536	14,683,450
負債純資産合計	24,398,489	25,153,698

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	14,848,029
売上原価	4,133,942
売上総利益	10,714,086
販売費及び一般管理費	9,312,387
営業利益	1,401,699
営業外収益	
受取利息	18,855
受取販売奨励金	103,135
その他	109,478
営業外収益合計	231,470
営業外費用	
支払利息	9,931
貸倒引当金繰入額	30,649
その他	14,295
営業外費用合計	54,876
経常利益	1,578,293
特別利益	
固定資産売却益	202
貸倒引当金戻入額	2,380
特別利益合計	2,582
特別損失	
固定資産除却損	15,461
会員権評価損	17,249
特別損失合計	32,710
税金等調整前四半期純利益	1,548,165
法人税、住民税及び事業税	74,211
法人税等調整額	690,508
法人税等合計	764,720
少数株主損失(△)	△374
四半期純利益	783,819

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	1,548,165
減価償却費	373,285
のれん償却額	37,477
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,223
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45,450
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△50,000
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2,098
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	60,036
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△128,726
受取利息	△18,855
支払利息	9,931
固定資産除却損	15,461
固定資産売却損益 (△は益)	△202
匿名組合投資損益 (△は益)	△21,580
投資有価証券評価損益 (△は益)	△25,164
売上債権の増減額 (△は増加)	129,630
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△41,339
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,083
前受金の増減額 (△は減少)	△243,412
会員権評価損	17,249
その他	△462,940
小計	1,179,772
利息の支払額	△8,888
利息及び配当金の受取額	15,467
法人税等の支払額	△34,123
法人税等の還付額	777,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,929,688

投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入による支出	△222,131
有形固定資産の取得による支出	△557,158
有形固定資産の売却による収入	202
無形固定資産の取得による支出	△79,412
長期貸付金の回収による収入	1,521
敷金及び保証金の差入による支出	△49,996
敷金及び保証金の回収による収入	45,320
匿名組合出資金の払戻による収入	8,834
その他	△607
投資活動によるキャッシュ・フロー	△853,427

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入れによる収入	150,658
短期借入金の返済による支出	△83,490
長期借入金の返済による支出	△65,779
社債の償還による支出	△316,000
株式の発行による収入	6,750
自己株式の取得による支出	△43
配当金の支払額	△390,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△698,553
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,121
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	369,585
現金及び現金同等物の期首残高	10,976,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,345,835

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当連結グループは、毛髪関連事業を専門に事業展開しており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載は省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月 30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		15,067,278	100.0
II 売上原価		4,188,046	27.8
売上総利益		10,879,232	72.2
III 販売費及び一般管理費		8,657,530	57.5
営業利益		2,221,701	14.7
IV 営業外収益			
1. 受取利息	22,832		
2. 受取配当金	4,000		
3. 匿名組合投資利益	19,049		
4. 受取販売奨励金	90,595		
5. 為替差益	26,377		
6. その他	16,818	179,674	1.2
V 営業外費用			
1. 支払利息	29,121		
2. 借入金期限前弁済手数料	12,745		
3. その他	24,522	66,389	0.4
経常利益		2,334,986	15.5
VI 特別利益			
1. 投資有価証券売却益	24,000		
2. 貸倒引当金戻入益	227	24,227	0.2
VII 特別損失			
1. 固定資産除却損	23,477		
2. 減損損失	17,734		
3. 撤去費用負担損失	25,000		
4. 火災損失	1,147	67,360	0.5
税金等調整前中間純利益		2,291,853	15.2
法人税、住民税及び事業税	1,123,945		
法人税等調整額	△63,861	1,060,084	7.0
少数株主損失 (△)		△0	△0.0
中間純利益		1,231,769	8.2

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	2,291,853
減価償却費	398,835
減損損失	17,734
のれん償却額	75,432
貸倒引当金の減少額	△2,777
賞与引当金の増加額	176,000
役員賞与引当金の減少額	△3,700
退職給付引当金の増加額	89,888
商品保証引当金の減少額	△386
役員退職慰労引当金の増加額	97,741
受取利息及び受取配当金	△26,832
支払利息	29,121
固定資産除却損	23,477
匿名組合投資利益	△19,049
投資有価証券売却益	△24,000
売上債権の増加額	△130,060
たな卸資産の減少額	103,997
その他流動資産の増加額	△70,655
仕入債務の減少額	△5,120
前受金の減少額	△2,343,556
その他流動負債の減少額	△130,584
その他固定負債の増加額	6,283
その他	6,210
小計	559,850
利息及び配当金の受取額	13,430
利息の支払額	△26,562
法人税等の支払額	△1,189,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	△642,528

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△455,419
無形固定資産の取得による支出	△112,790
投資有価証券の取得による支出	△100,000
投資有価証券の売却による収入	224,000
長期貸付金の回収による収入	2,040
保証金及び敷金の差入による支出	△42,970
保証金及び敷金の回収による収入	24,825
匿名組合投資の回収による収入	8,834
その他	△11,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△463,392
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入による収入	25,500
長期借入金の返済による支出	△1,144,925
社債の償還による支出	△316,000
配当金の支払額	△594,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,029,739
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4,084
V 現金及び現金同等物の減少額	△3,131,575
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,806,921
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	7,675,345

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

当連結グループは、毛髪関連事業を専門に事業展開しており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの記載を省略しております。

[海外売上高]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載は省略しております。